



2023年3月期第1四半期決算の概要

2022年8月9日

東レ株式会社

目次

I . 2023年3月期第1四半期決算の概要	2
II . 2023年3月期連結業績見通し	17
III . 参考資料	21

I . 2023年3月期第1四半期決算の概要

2023年3月期第1四半期連結損益概要

億円

	22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減
売上収益	5,137	6,059	+922 (+17.9%)
事業利益	361	271	-90 (-24.9%)
(売上収益事業利益率)	7.0%	4.5%	-2.6 ポイント
非経常項目	▲ 2	238	+240
金融収益及び費用	8	22	+14
持分法による投資利益	43	41	-1
税引前四半期利益	409	572	+163 (+39.8%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	297	399	+102 (+34.3%)

為替レート	(22/3 1Q)	(23/3 1Q)
<円/US\$> 期中平均	109.5	129.6
	110.6	136.7
<円/ユーロ> 期中平均	132.0	138.1
	131.6	142.7

非経常項目

億円

	22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減
固定資産売却益	4	1	-3
子会社の支配喪失に伴う利益*	-	251	+251
固定資産処分損	▲ 6	▲ 5	+1
減損損失	▲ 0	▲ 9	-9
非経常項目	▲ 2	238	+240

* ハンガリーのリチウムイオン二次電池用バッテリーセパレータフィルム製造・販売会社 Toray Industries Hungary Kft. に対して、LG Chem, Ltd. が新たに出資をし、合弁会社 LG Toray Hungary Battery Separator Kft. を設立したことによる投資の再評価益。

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	22年3月末	22年6月末	増減
資産合計	30,439	32,426	+1,987
流動資産	13,732	14,545	+812
有形固定資産	9,907	10,255	+348
その他	6,799	7,626	+827
負債合計	15,442	16,269	+826
流動負債	7,411	7,826	+416
非流動負債	8,032	8,442	+411
資本合計	14,996	16,157	+1,160
自己資本*	14,056	15,176	+1,120
自己資本比率*	46.2%	46.8%	+0.6ポイント
有利子負債残高	9,357	9,934	+577
D/Eレシオ	0.67	0.65	-0.01

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	478	228	-249
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 217	▲ 264	-47
フリー・キャッシュ・フロー	261	▲ 36	-297

* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

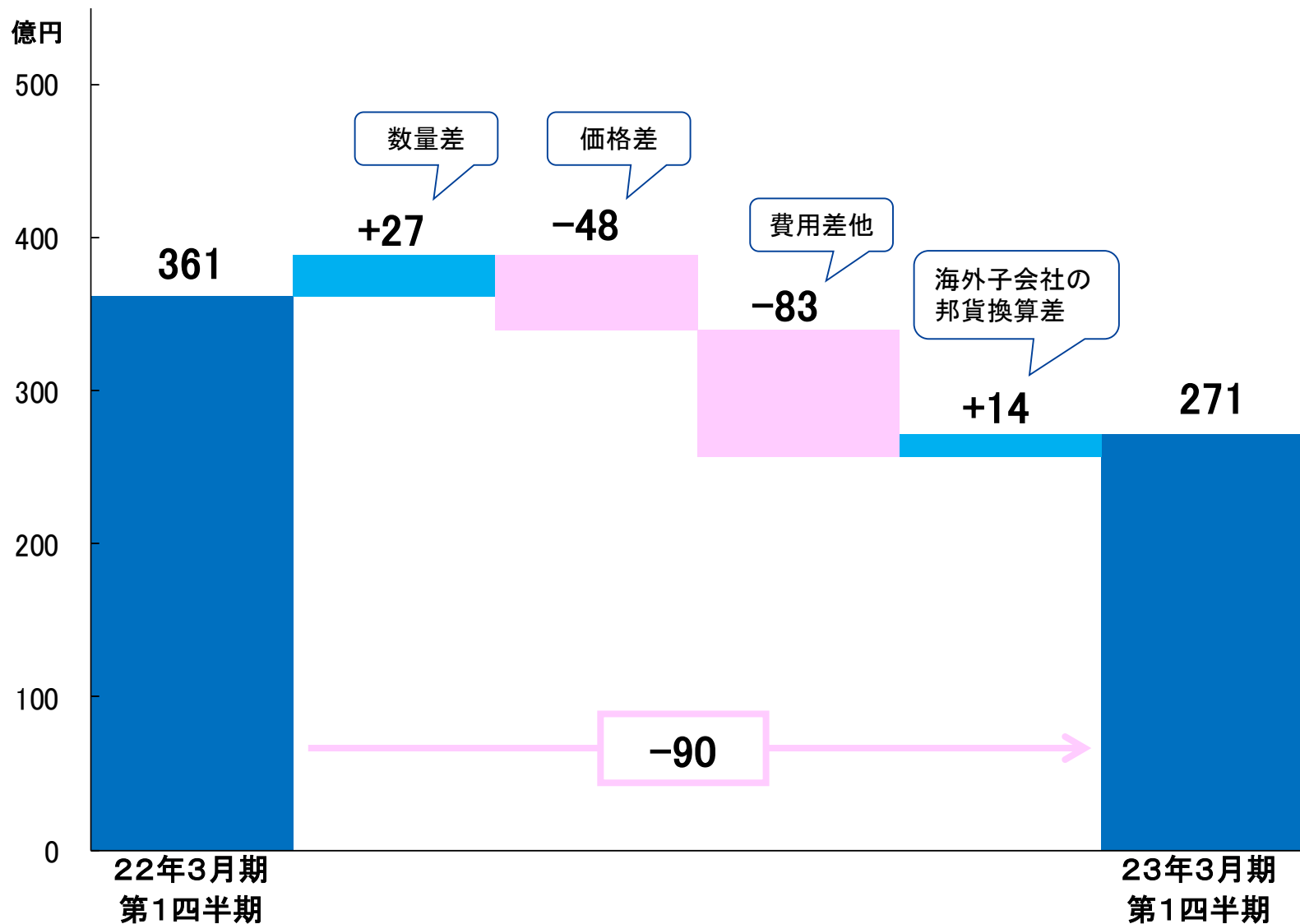
	22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減
設備投資額	176	160	-16
東レ	25	24	-1
連結子会社	151	136	-15
減価償却費	306	321	+15
東レ	98	87	-10
連結子会社	208	233	+25
研究開発費	145	167	+22
東レ	107	122	+15
連結子会社	37	45	+7

主な設備投資案件

Zoltek Companies, Inc.

: 炭素繊維生産設備

事業利益増減要因分析



セグメント別売上収益・事業利益

億円

		22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減
売上 収益	繊維	1,842	2,258	+416 (+22.6%)
	機能化成品	2,226	2,450	+224 (+10.1%)
	炭素繊維複合材料	485	686	+201 (+41.4%)
	環境・エンジニアリング	437	507	+70 (+16.1%)
	ライフサイエンス	115	123	+9 (+7.6%)
	その他	32	34	+2 (+6.2%)
	合計	5,137	6,059	+922 (+17.9%)
事業 利益	繊維	118	87	-31 (-26.2%)
	機能化成品	279	169	-110 (-39.5%)
	炭素繊維複合材料	▲ 21	24	+45 (-)
	環境・エンジニアリング	34	35	+1 (+2.3%)
	ライフサイエンス	2	1	-1 (-46.9%)
	その他	2	4	+2 (+85.1%)
	調整額	▲ 53	▲ 48	+5
	合計	361	271	-90 (-24.9%)

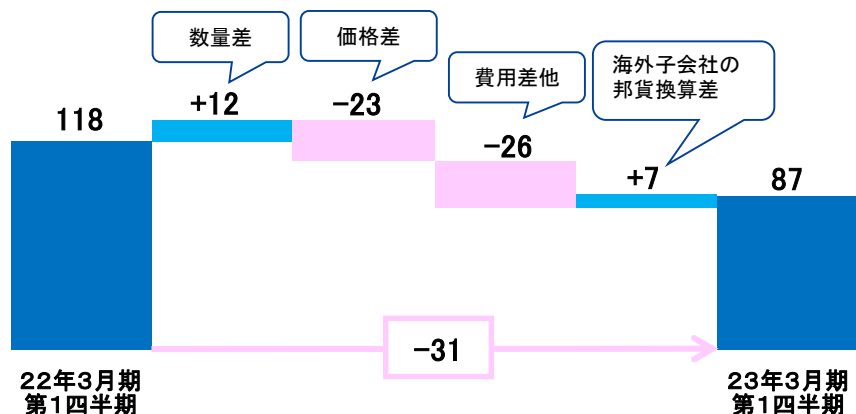
セグメント別業績(繊維)

億円

		22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	417	489	+73 (+17.4%)
	国内	905	1,089	+185 (+20.4%)
	海外	1,262	1,592	+330 (+26.2%)
	修正	▲ 742	▲ 913	-171
	計	1,842	2,258	+416 (+22.6%)
事業利益	東レ	30	33	+3 (+10.8%)
	国内	23	17	-5 (-24.1%)
	海外	73	41	-32 (-44.4%)
	修正	▲ 8	▲ 4	+4
	計	118	87	-31 (-26.2%)

事業利益増減

億円



< 概況 >

■全般

ほぼ全ての用途・地域において、原燃料価格及び運輸費高騰の影響を受けた。

■衣料用途

中国でのロックダウンの影響を受けたが、スポーツ・アウトドア用途が堅調に推移したほか、一部地域においてはコロナ禍からの回復が見られた。

■産業用途

自動車生産台数の減少により需要が低下した。

<トピックス>

・ 22年4月:

使い切り防護服LIVMOA[®]において、高い粉じん防護性および耐水性と通気性を両立する生地を用い、さらに縫い目部分にシームテープを付けて製品の耐水性を高めることで、「JIS T 8115 化学防護服タイプ 4」(スプレー防護用密閉服)に適合する防護服LIVMOA[®]4500ASを開発。5月に販売を開始した。

セグメント別業績(機能化成品)

億円

		22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減	
売上収益	東レ	646	667	+21	(+3.2%)
	国内	1,184	1,413	+229	(+19.4%)
	海外	1,527	1,554	+27	(+1.8%)
	修正	▲ 1,131	▲ 1,184	-53	
	計	2,226	2,450	+224	(+10.1%)
事業利益	東レ	81	52	-30	(-36.7%)
	国内	57	63	+6	(+10.9%)
	海外	144	46	-98	(-68.2%)
	修正	▲ 3	9	+11	
	計	279	169	-110	(-39.5%)

< 概況 >

■全般

原燃料価格高騰の影響を受けた。

■樹脂事業

自動車生産台数の減少及び中国でのロックダウンの影響により低調となった。

■ケミカル事業

ファインケミカルが好調に推移。

■フィルム事業

リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムの車載用途が低調に推移。

■電子情報材料事業

回路材料の需要が減少。

<トピックス>

・ 22年4月:

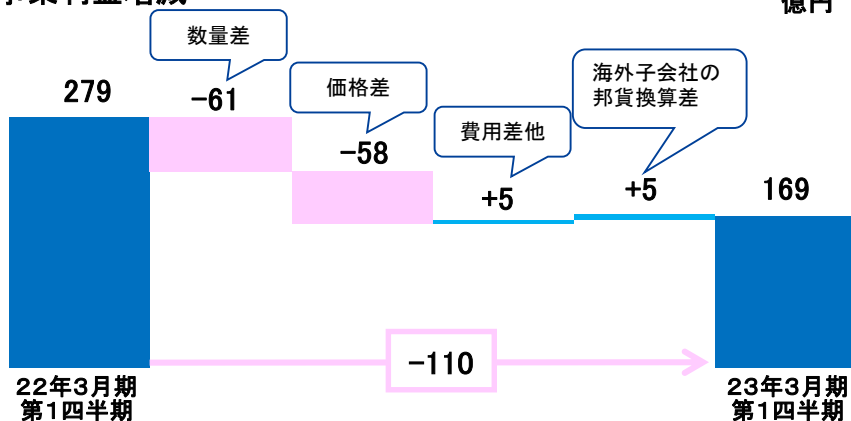
東レ独自の膜設計および膜形成技術の追求により、従来対比大幅な低コスト化を実現する超ハイバリアフィルムを創出。フレキシブルデバイスや太陽電池の封止など、高いバリア性が求められる様々な用途への展開に向け、2023年の実用化を目指す。

・ 22年6月:

ハンガリーのリチウムイオン二次電池用バッテリーセパレータフィルム製造・販売会社Toray Industries Hungary Kft. に対して、LG Chem, Ltd. が新たに出資をし、合併会社 LG Toray Hungary Battery Separator Kft. を設立。

事業利益増減

億円



機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	22年3月期 第1四半期		23年3月期 第1四半期		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	1,045	31%	1,087	30%	+4%
フィルム	832	25%	886	24%	+6%
電子情報材料	193	6%	158	4%	-18%
商事他	1,286	38%	1,503	41%	+17%
修正	▲ 1,131	-	▲ 1,184	-	-
合計	2,226		2,450		+10%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

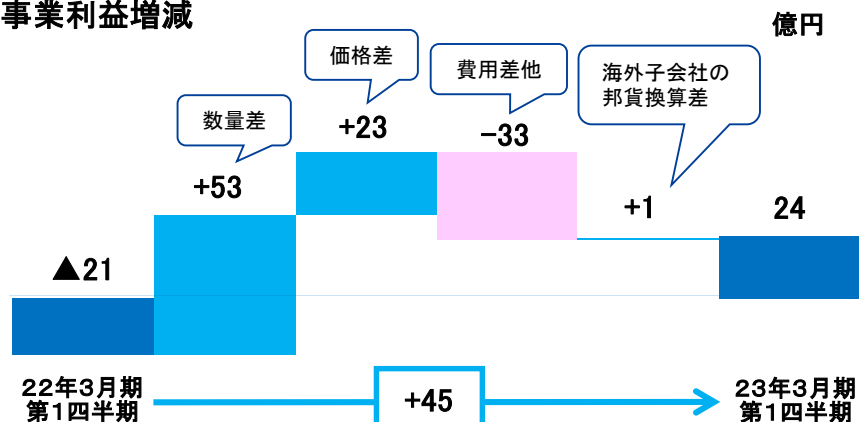
		22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	156	189	+33 (+21.2%)
	国内	113	163	+49 (+43.7%)
	海外	437	639	+202 (+46.2%)
	修正	▲ 220	▲ 304	-84
	計	485	686	+201 (+41.4%)
事業利益	東レ	▲ 6	27	+34 (-)
	国内	2	3	+2 (+83.8%)
	海外	▲ 8	13	+21 (-)
	修正	▲ 9	▲ 20	-11
	計	▲ 21	24	+45 (-)

< 概況 >

■全般

原燃料価格上昇の影響、及び航空宇宙用途で民間旅客機のビルドレート低調の影響を受けたが、一般産業用途において風力発電翼用途や圧力容器用途が拡大したほか、スポーツ用途が伸長。また、価格転嫁を推進。

事業利益増減



炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

	22年3月期 第1四半期		23年3月期 第1四半期		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	95	20%	124	18%	+30%
スポーツ	61	12%	95	14%	+56%
一般産業	329	68%	468	68%	+42%
合計	485		686		+41%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	86	88	+2 (+2.2%)
	国内	440	460	+20 (+4.5%)
	海外	103	159	+57 (+55.3%)
	修正	▲ 192	▲ 200	-8
	計	437	507	+70 (+16.1%)
事業利益	東レ	2	4	+2 (+101.0%)
	国内	15	9	-7 (-44.2%)
	海外	17	25	+8 (+44.6%)
	修正	▲ 0	▲ 3	-2
	計	34	35	+1 (+2.3%)

< 概況 >

■水処理事業

逆浸透膜などの需要が堅調に推移し、新たに稼働を開始した設備が業績に寄与。

■国内子会社

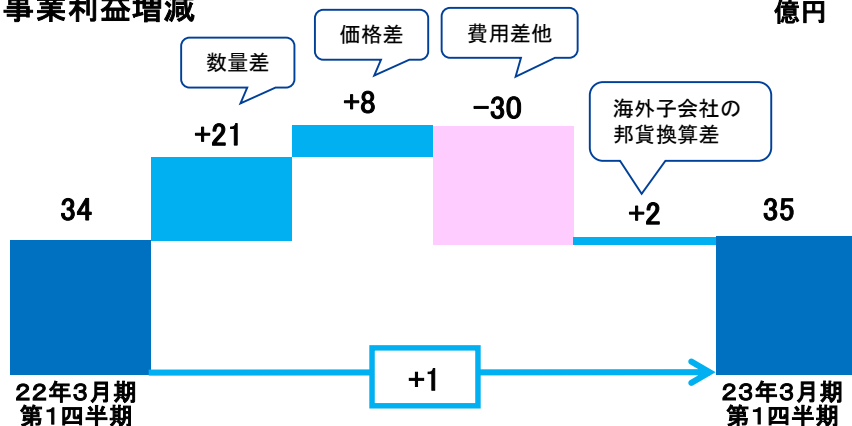
エンジニアリング子会社でリチウムイオン二次電池関連装置の出荷が増加。

<トピックス>

・ 22年5月：
アラブ首長国連邦のタビーク海水淡水化プラント向けに、逆浸透(RO)膜を受注。同プラントは、90.9万m³/日の造水量を誇り、2022年度下半期の稼働後は、RO膜法として世界最大の海水淡水化プラントになる見通し。

事業利益増減

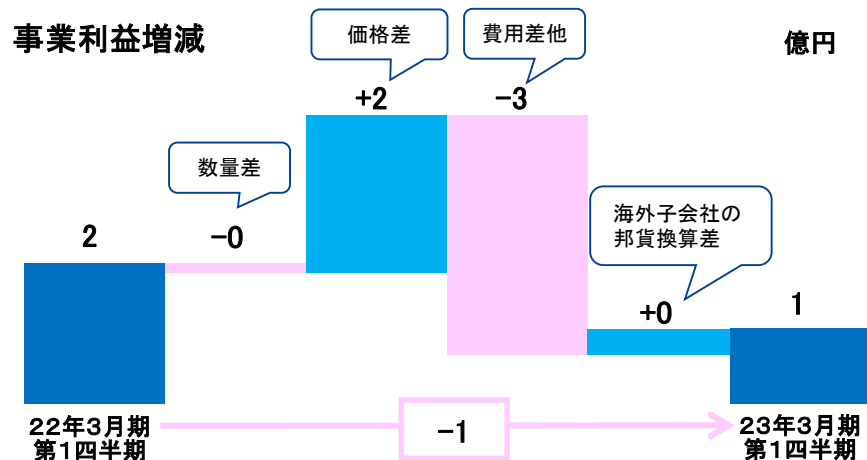
億円



セグメント別業績(ライフサイエンス)

億円

		22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減	
売上収益	東レ	52	58	+5	(+9.7%)
	国内	94	97	+2	(+2.6%)
	海外	26	39	+12	(+47.1%)
	修正	▲ 59	▲ 70	-11	
	計	115	123	+9	(+7.6%)
事業利益	東レ	▲ 3	▲ 5	-2	(-)
	国内	4	2	-2	(-43.7%)
	海外	1	2	+1	(+103.6%)
	修正	▲ 0	1	+2	
	計	2	1	-1	(-46.9%)



< 概況 >

■ 医薬事業

経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、薬価改定の影響を受けた。

■ 医療機器事業

血液透析ろ過用のダイアライザーが国内で堅調に推移したが、原燃料価格高騰の影響を受けた。

*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。

<トピックス>

・ 22年4月:

『抗血栓性人工腎臓の開発と工業化』について、公益財団法人市村清新技術財団の「第54回市村産業賞功績賞」を受賞。

・ 22年5月:

心房細動治療用アブレーションカテーテル「SATAKE・HotBalloon®カテーテル」について、薬剤抵抗性を有する再発性症候性の持続性心房細動に対する保険適用を取得。

主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減	22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減	
東レインターナショナル	1,292	1,506	+213	27	29	+2	
東レエンジニアリング	223	238	+15	11	8	-3	
東レ建設	73	74	+1	▲ 1	▲ 3	-2	
東レフィルム加工	93	104	+10	10	11	+0	
在東南アジア・子会社	繊維	299	404	+104	3	4	+1
	機能化成品	322	291	-31	73	7	-66
	その他	2	2	-0	0	0	+0
	計	623	696	+73	76	11	-65
在中国・子会社	繊維	556	641	+85	48	44	-4
	機能化成品	294	302	+8	16	24	+9
	その他	99	134	+35	8	15	+7
	計	949	1,077	+127	72	84	+12
在韩国・子会社	繊維	231	278	+47	16	▲ 6	-22
	機能化成品	395	381	-14	54	14	-39
	その他	80	104	+24	9	17	+8
	計	706	762	+57	79	26	-54

Ⅱ. 2023年3月期連結業績見通し

2023年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

内外経済は、ウクライナ情勢に伴う資源価格高騰、世界的なインフレの進行、金融引き締めに伴う米欧の景気後退や新興国の債務危機懸念、さらには中国のゼロコロナ政策の影響等、下振れのリスクが大きく、不透明感が高まっていることを前提としている。

億円

		22年3月期 実績	23年3月期 見通し	増減	期初見通し*	期初見通し との差異
売上収益	上期	10,630	12,500	+1,870 (+17.6%)	11,850	+650
	下期	11,655	13,750	+2,095 (+18.0%)	13,150	+600
	通期	22,285	26,250	+3,965 (+17.8%)	25,000	+1,250
事業利益	上期	702	600	-102 (-14.5%)	600	—
	下期	619	800	+181 (+29.3%)	800	—
	通期	1,321	1,400	+79 (+6.0%)	1,400	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	609	580	-29 (-4.8%)	520	+60
	下期	233	420	+187 (+80.2%)	480	-60
	通期	842	1,000	+158 (+18.7%)	1,000	—
基本的1株当たり 当期利益	上期	38.06 円	36.23 円	為替レート的前提 125円/US\$	* 期初見通し: 2022年5月13日公表値	
	下期	14.56 円	26.23 円			
	通期	52.63 円	62.46 円			
1株当たり配当金	上期	8.00 円	9.00 円			
	下期	8.00 円	9.00 円			
	通期	16.00 円	18.00 円			
配当性向	通期	30%	29%			

セグメント別連結業績見通し

億円

		22年3月期実績			23年3月期見通し			増減			期初見通しとの差異*		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	繊維	4,015	4,347	8,362	4,900	5,010	9,910	+885	+663	+1,548	+430	-40	+390
	機能化成品	4,445	4,655	9,100	4,890	5,630	10,520	+445	+975	+1,420	+70	+470	+540
	炭素繊維複合材料	989	1,163	2,152	1,350	1,430	2,780	+361	+267	+628	+150	+150	+300
	環境・エンジニアリング	859	1,134	1,993	1,030	1,300	2,330	+171	+166	+337	+10	+10	+20
	ライフサイエンス	251	269	520	260	290	550	+9	+21	+30	-	-	-
	その他	70	89	159	70	90	160	-0	+2	+1	-10	+10	-
	合計	10,630	11,655	22,285	12,500	13,750	26,250	+1,870	+2,095	+3,965	+650	+600	+1,250
事業利益	繊維	243	179	422	240	290	530	-3	+111	+108	-	-10	-10
	機能化成品	522	387	910	340	495	835	-182	+108	-75	-60	+35	-25
	炭素繊維複合材料	▲ 36	52	16	55	70	125	+91	+18	+109	+25	-5	+20
	環境・エンジニアリング	61	105	165	70	125	195	+9	+20	+30	+15	-	+15
	ライフサイエンス	11	3	14	0	0	0	-11	-3	-14	-	-	-
	その他	7	23	30	0	10	10	-7	-13	-20	-	-	-
	調整額	▲ 107	▲ 129	▲ 236	▲ 105	▲ 190	▲ 295	+2	-61	-59	+20	-20	-
	合計	702	619	1,321	600	800	1,400	-102	+181	+79	-	-	-

* 期初見通し: 2022年5月13日公表値

セグメント別事業利益の期初見通しとの差異

セグメント	通期事業利益(億円) 期初見通し*→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	540→530 (-10)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料用途は、アウトドア・スポーツウェア用途等の需要が堅調に推移。 ・原燃料価格高騰や物流費高騰に対する価格転嫁を推進するが、一部で転嫁遅れを見込む。
機能化成品	860→835 (-25)	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂事業では、中国ロックダウンの影響により上期のABS樹脂の販売量が減少、スプレッドも縮小し、減益の見通し。 ・フィルム事業、電子情報材料事業では、LCDパネルメーカーの減産等の影響により販売量減となる見通し。
炭素繊維 複合材料	105→125 (+20)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般産業用途では、風力発電翼用途や圧力容器用途の需要拡大を見込む。 ・原燃料価格高騰による減益要因を、円安影響と着実な価格転嫁でカバーし、全体では増益の見通し。
環境・ エンジニアリング	180→195 (+15)	<ul style="list-style-type: none"> ・水処理事業では、グローバルでのRO膜の出荷拡大および原燃料価格、物流費高騰に対する価格転嫁の推進により増益を見込む。
ライフサイエンス	0→0 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期初見通し通り。
その他	10→10 (±0)	
調整額	▲295→▲295 (±0)	
合計	1,400→1,400 (±0)	

* 期初見通し: 2022年5月13日公表値

Ⅲ. 参考資料

セグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
繊維	1,842	2,174	2,301	2,046	8,362	2,258
機能化成品	2,226	2,219	2,336	2,319	9,100	2,450
炭素繊維複合材料	485	504	542	620	2,152	686
環境・エンジニアリング	437	422	487	647	1,993	507
ライフサイエンス	115	136	135	134	520	123
その他	32	38	38	51	159	34
合計	5,137	5,493	5,839	5,817	22,285	6,059

セグメント別四半期事業利益推移

億円

	22年3月期					23年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
繊維	118	126	111	67	422	87
機能化成品	279	243	224	163	910	169
炭素繊維複合材料	▲ 21	▲ 16	17	35	16	24
環境・エンジニアリング	34	27	48	57	165	35
ライフサイエンス	2	9	5	▲ 2	14	1
その他	2	5	8	15	30	4
調整額	▲ 53	▲ 54	▲ 55	▲ 74	▲ 236	▲ 48
合計	361	341	358	261	1,321	271

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
樹脂・ケミカル	1,045	1,044	1,101	1,069	4,259	1,087
フィルム	832	831	841	847	3,350	886
電子情報材料	193	192	194	162	741	158
商事他	1,286	1,247	1,393	1,378	5,303	1,503
修正	▲ 1,131	▲ 1,095	▲ 1,192	▲ 1,136	▲ 4,554	▲ 1,184
合計	2,226	2,219	2,336	2,319	9,100	2,450

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
航空宇宙	95	106	110	116	427	124
スポーツ	61	62	73	83	279	95
一般産業	329	336	359	421	1,447	468
合計	485	504	542	620	2,152	686

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

		22年3月期					23年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
東レインターナショナル		1,292	1,441	1,600	1,370	5,703	1,506
東レエンジニアリング		223	187	217	339	966	238
東レ建設		73	94	115	140	423	74
東レフィルム加工		93	95	101	96	386	104
在東南アジア・ 子会社	繊維	299	316	332	364	1,312	404
	機能化成品	322	312	316	312	1,261	291
	その他	2	1	1	1	6	2
	計	623	629	649	677	2,579	696
在中国・ 子会社	繊維	556	689	630	466	2,341	641
	機能化成品	294	304	332	276	1,206	302
	その他	99	95	126	99	420	134
	計	949	1,088	1,088	842	3,967	1,077
在韩国・ 子会社	繊維	231	236	274	259	1,000	278
	機能化成品	395	379	396	386	1,556	381
	その他	80	77	101	89	347	104
	計	706	692	771	734	2,903	762

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

		22年3月期					23年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
東レインターナショナル		27	33	35	28	122	29
東レエンジニアリング		11	0	12	25	47	8
東レ建設		▲ 1	3	3	8	14	▲ 3
東レフィルム加工		10	8	11	9	38	11
在東南アジア・ 子会社	繊維	3	8	1	3	15	4
	機能化成品	73	53	41	25	192	7
	その他	0	0	0	▲ 0	0	0
	計	76	61	42	28	207	11
在中国・ 子会社	繊維	48	57	38	23	166	44
	機能化成品	16	18	23	24	80	24
	その他	8	9	12	5	34	15
	計	72	85	72	51	281	84
在韩国・ 子会社	繊維	16	9	10	▲ 5	31	▲ 6
	機能化成品	54	47	33	12	146	14
	その他	9	10	13	10	42	17
	計	79	66	56	18	219	26

ESGに関する社外からの評価

■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2022年2月

Sustainability Yearbook

Member 2022

S&P Global

■ CDP

2021年12月



WATER

Water Security: A
Climate Change: B

■ MSCI

2021年9月

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA AAA

■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

Member of

Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

2021年11月

「Dow Jones Sustainability Index(DJSI)」のAsia Pacific

2021 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2021年9月

「MSCI ESG Leaders Indexes」



FTSE4Good

2022年6月

「FTSE4Good Index Series」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry